

バス事故備え訓練

郡山中央交通 心肺蘇生法を確認

郡山中央交通の事故発生防止想定訓練は8月29、30の両日、郡山市の本社で行われた。

同社が掲げる「安全安心のバス旅行」実現のため、毎年実施しており、今年で15回目。



訓練に臨む社員

同社とグループ会社の運転手、社員ら約90人が2日間に分かれて参加。郡山消防署安積分署の協力を得て、事故発生時の人命救助のための自動体外式除細動器（AED）の使い方や心肺蘇生法を確認した。

訓練に先立ち、同社の桑原秀治会長は「お客さまに楽しいバス旅行だったと思ってもらうためにも安全運行は欠かせない。訓練や努力を一人一人意識してほしい」と社員に呼びかけた。